

授業科目 小児看護学実習

| | | | | | |
|---|---|---|---|-------|---------------|
| 【担当教員名】 | | 対象学年 | 3 | 対象学科 | 看護 |
| 松井 由美子、坪川 麻樹子、中村 郷子 | | 開講時期 | 後期 | 必修選択 | 必修 |
| | | 単位数 | 2 | 時間数 | 90 |
| 【ディプロマポリシーとの関連性】 | | | | | |
| 知識・理解 | 思考・判断 | 関心・意欲 | 態度 | 技能・表現 | |
| ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | |
| 【概要・一般目標：GIO】 | | | | | |
| 子どもとその家族の環境や個性を理解し、子どもの発達段階の特徴や健康レベルに応じた小児看護学の基礎的実践に必要な知識・技術・態度を修得する。また、子どもや家族の権利を擁護し、倫理的に配慮をした援助や小児保健医療福祉の連携について考察する。 | | | | | |
| 【学習目標・行動目標：SBO】 | | | | | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの成長発達や健康レベルを理解し、個々に応じた援助的な人間関係を形成することができる。 2. 子どもの成長発達や健康維持・増進および発達障害に応じた環境など、安全な生活や環境について考えることができる。 3. 子どもの成長発達や健康上の看護問題を抽出し、看護ケアの一場面を看護過程を使って振り返ることができる。 4. 子どもや家族の個々の状態に応じて、権利を擁護した援助が実施できる。 5. 小児看護学における遊びや家族の重要性を理解し、援助の中で様々な工夫ができる。 6. 小児保健医療福祉の連携のあり方や看護職者の役割について考察できる。 | | | | | |
| 回数 | 授業計画・学習の主題 | SBO 番号 | 学習方法・学習課題 備考・担当教員 | | |
| | <ol style="list-style-type: none"> 1. 保育園実習（3日間） 2. 病棟実習（5日間） 3. 学内実習（2日間） 2週間（10日間）を上記1～3の内容で構成する。 | | 保育園実習、担当：松井 由美子 他 小児科病棟実習、担当：松井 由美子 他 オリエンテーション・中間カンファレンス・保育園実習準備・ビデオ学習・自己学習、担当：松井 由美子 他 小児看護学教員全員で担当する。、担当：松井 由美子 他 | | |
| 【使用図書】 | | <書名> | <著者名> | <発行所> | <発行年・価格 他> |
| 教科書 (必ず購入する書籍) | | 特に指定しない | | | |
| 参考書 | | こどもの病気の地図帳 | 鴨下重彦、柳澤正義監修 | 講談社 | 2002・4,000円＋税 |
| その他の資料 | | 小児看護学実習要項・実習施設ガイド・小児実習ガイド | | | |
| 【評価方法】 | | 【履修上の留意点】 | | | |
| 実習評価表・出席状況・記録提出物により総合的に評価を行う。 実習評価表は十分な学習による「知識・理解」、看護計画による「思考・判断」、実習に対する「関心・意欲」、「実習態度」、コミュニケーションによる「技能・表現」で構成され評価される。 | | 笑顔で楽しく実習しましょう。小児看護の素晴らしさを体験してもらいたと思います。 | | | |